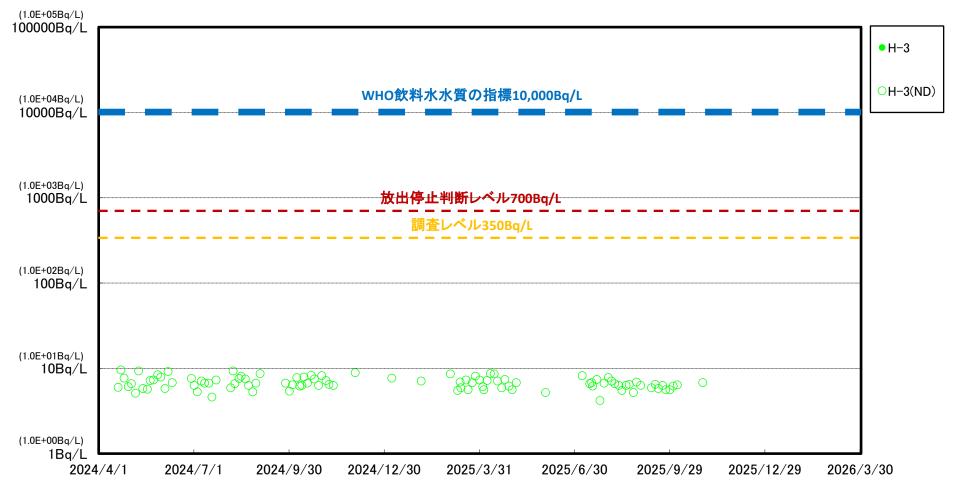
福島第一 5.6号機放水口北側(T-1) 海水放射能濃度(迅速に結果を得る測定)

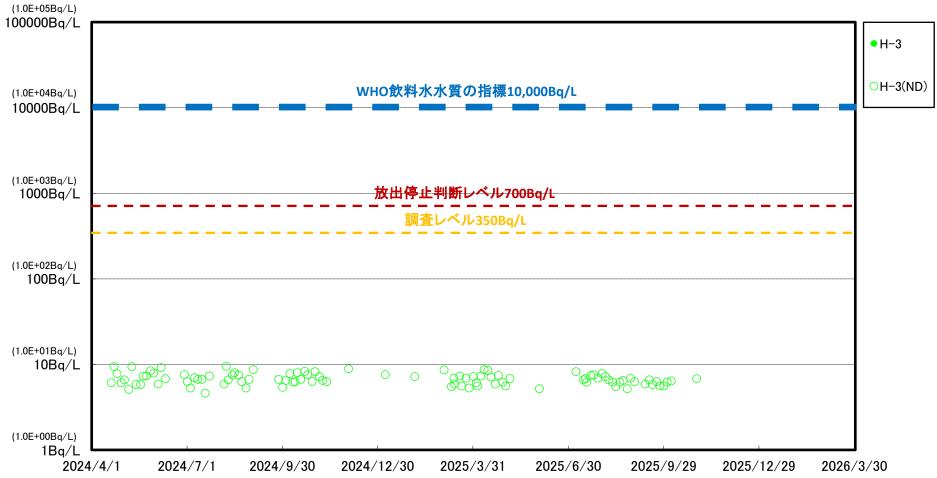


[※] 世界保健機関(WHO)飲料水水質の指標:WHOの飲料水ガイドラインでは1リットルあたり1万ベクレル

放出停止判断レベル: 設備の運用としてALPS処理水の海洋放出を停止する指標

調査レベル:放出停止判断レベルに達する前段階で必要な対応(設備・操作手順の確認, モニタリングの強化等)を取る指標

福島第一 南放水口付近(T-2) 海水放射能濃度(迅速に結果を得る測定)

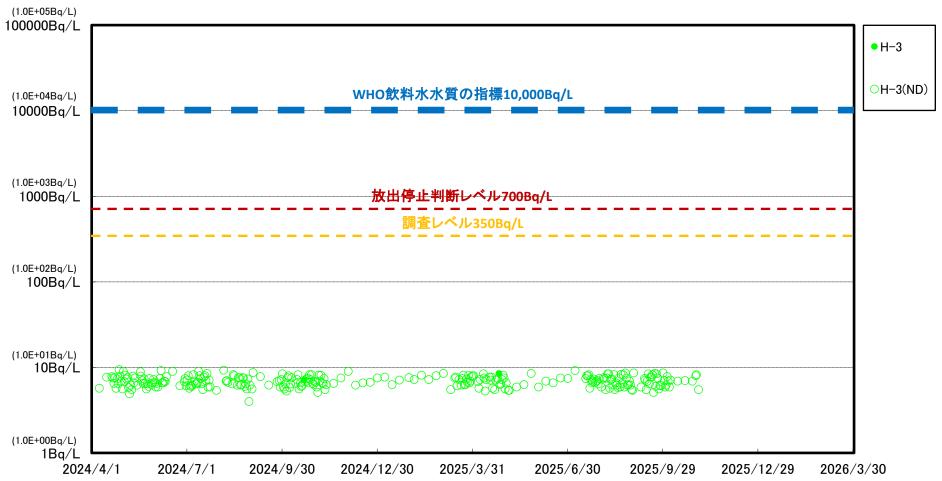


※ 世界保健機関(WHO)飲料水水質の指標:WHOの飲料水ガイドラインでは1リットルあたり1万ベクレル

放出停止判断レベル: 設備の運用としてALPS処理水の海洋放出を停止する指標

調査レベル:放出停止判断レベルに達する前段階で必要な対応(設備・操作手順の確認, モニタリングの強化等)を取る指標

福島第一 北防波堤北側(T-0-1) 海水放射能濃度(迅速に結果を得る測定)

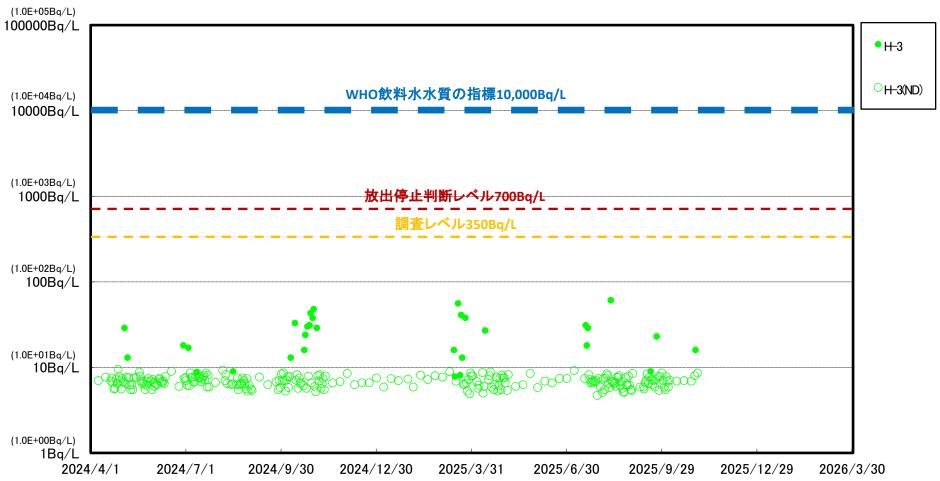


[※]世界保健機関(WHO)飲料水水質の指標:WHOの飲料水ガイドラインでは1リットルあたり1万ベクレル

放出停止判断レベル: 設備の運用としてALPS処理水の海洋放出を停止する指標

調査レベル:放出停止判断レベルに達する前段階で必要な対応(設備・操作手順の確認, モニタリングの強化等)を取る指標

福島第一 港湾口北東側(T-0-1A) 海水放射能濃度(迅速に結果を得る測定)

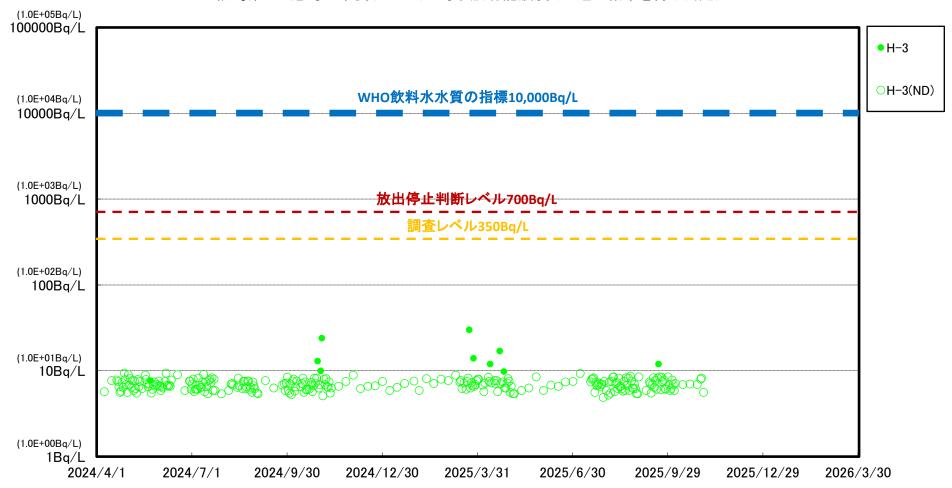


[※]世界保健機関(WHO)飲料水水質の指標:WHOの飲料水ガイドラインでは1リットルあたり1万ベクレル

放出停止判断レベル: 設備の運用としてALPS処理水の海洋放出を停止する指標

調査レベル:放出停止判断レベルに達する前段階で必要な対応(設備・操作手順の確認, モニタリングの強化等)を取る指標

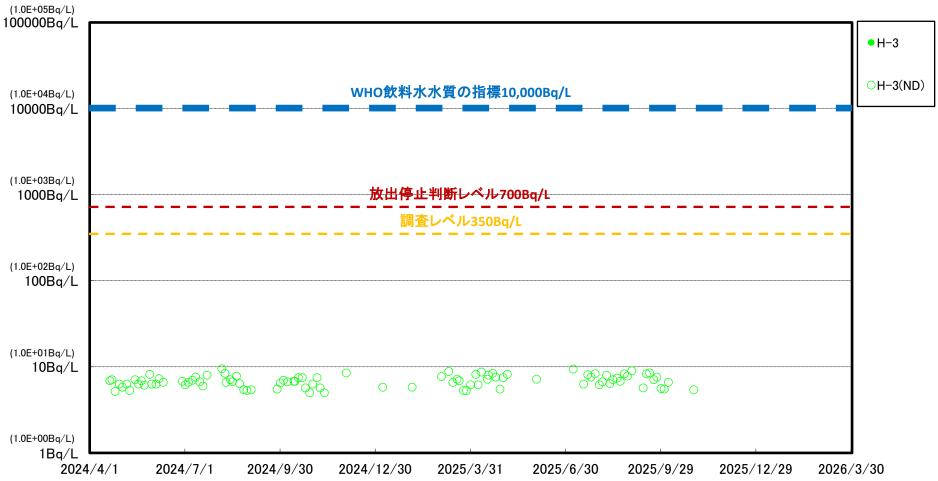
福島第一 港湾口東側(T-0-2) 海水放射能濃度(迅速に結果を得る測定)



※ 世界保健機関(WHO)飲料水水質の指標:WHOの飲料水ガイドラインでは1リットルあたり1万ベクレル放出停止判断レベル:設備の運用としてALPS処理水の海洋放出を停止する指標

調査レベル:放出停止判断レベルに達する前段階で必要な対応(設備・操作手順の確認, モニタリングの強化等)を取る指標

福島第一 港湾口南東側(T-0-3A) 海水放射能濃度(迅速に結果を得る測定)

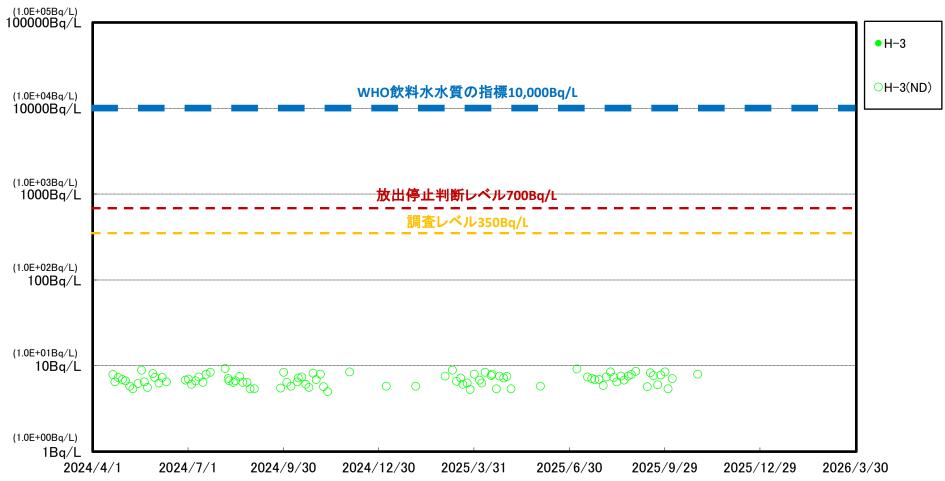


[※]世界保健機関(WHO)飲料水水質の指標:WHOの飲料水ガイドラインでは1リットルあたり1万ベクレル

放出停止判断レベル: 設備の運用としてALPS処理水の海洋放出を停止する指標

調査レベル:放出停止判断レベルに達する前段階で必要な対応(設備・操作手順の確認, モニタリングの強化等)を取る指標

福島第一 南防波堤南側(T-0-3) 海水放射能濃度(迅速に結果を得る測定)

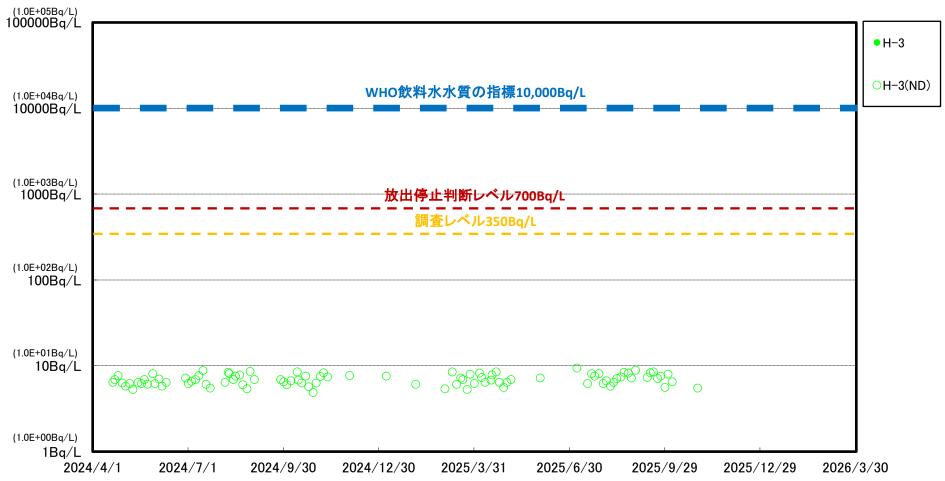


※世界保健機関(WHO)飲料水水質の指標:WHOの飲料水ガイドラインでは1リットルあたり1万ベクレル

放出停止判断レベル: 設備の運用としてALPS処理水の海洋放出を停止する指標

調査レベル:放出停止判断レベルに達する前段階で必要な対応(設備・操作手順の確認, モニタリングの強化等)を取る指標

1F敷地北側沖合1.5km(T-A1) 海水放射能濃度(迅速に結果を得る測定)

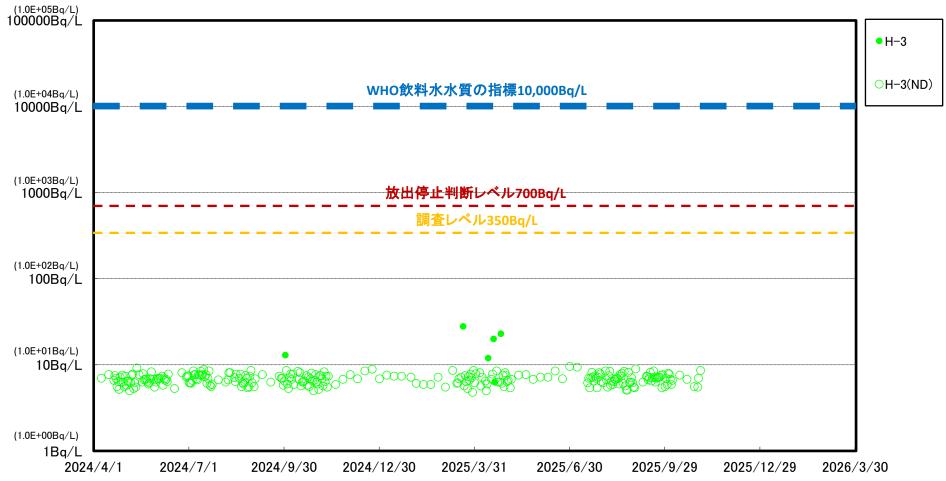


※世界保健機関(WHO)飲料水水質の指標:WHOの飲料水ガイドラインでは1リットルあたり1万ベクレル

放出停止判断レベル: 設備の運用としてALPS処理水の海洋放出を停止する指標

調査レベル:放出停止判断レベルに達する前段階で必要な対応(設備・操作手順の確認, モニタリングの強化等)を取る指標

1F敷地沖合1.5km(T-A2) 海水放射能濃度(迅速に結果を得る測定)

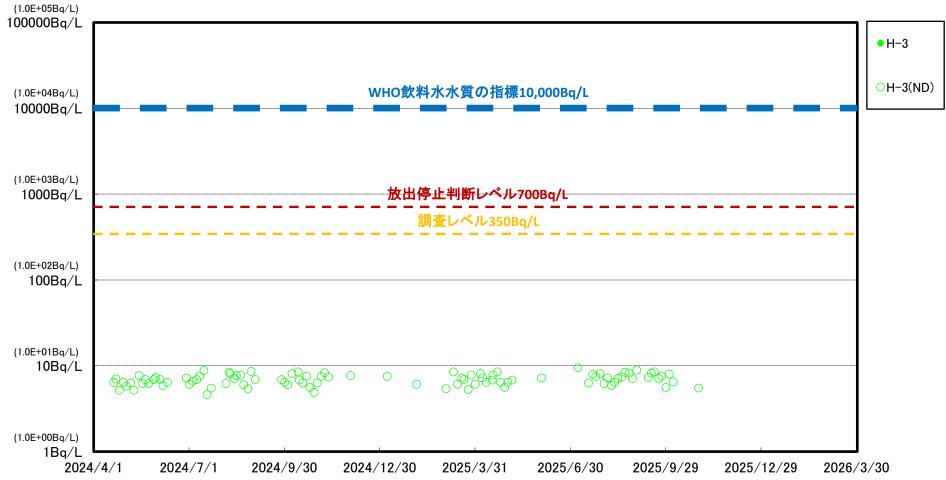


※世界保健機関(WHO)飲料水水質の指標:WHOの飲料水ガイドラインでは1リットルあたり1万ベクレル

放出停止判断レベル: 設備の運用としてALPS処理水の海洋放出を停止する指標

調査レベル:放出停止判断レベルに達する前段階で必要な対応(設備・操作手順の確認, モニタリングの強化等)を取る指標

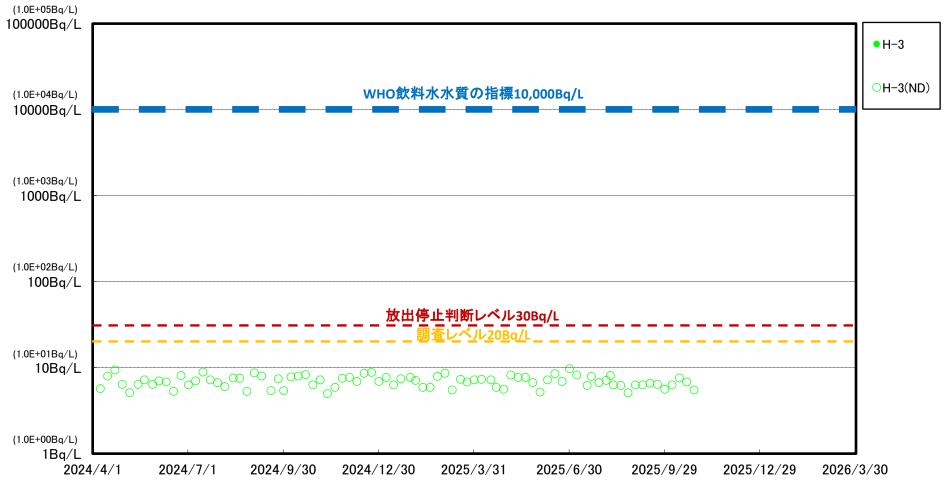
1F敷地南側沖合1.5km(T-A3) 海水放射能濃度(迅速に結果を得る測定)



※世界保健機関(WHO)飲料水水質の指標:WHOの飲料水ガイドラインでは1リットルあたり1万ベクレル 放出停止判断レベル:設備の運用としてALPS処理水の海洋放出を停止する指標

調査レベル:放出停止判断レベルに達する前段階で必要な対応(設備・操作手順の確認, モニタリングの強化等)を取る指標

福島第一 敷地沖合3km(T-D5) 表層 海水放射能濃度(迅速に結果を得る測定)

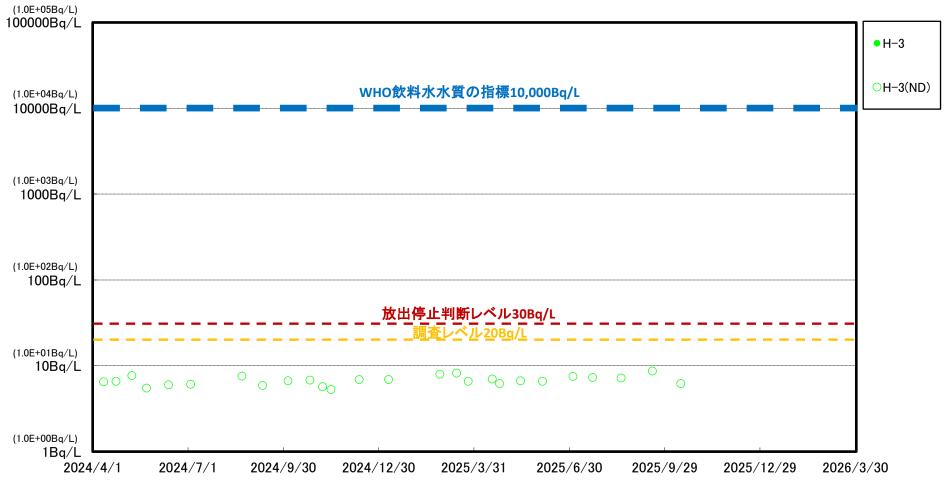


[※]世界保健機関(WHO)飲料水水質の指標:WHOの飲料水ガイドラインでは1リットルあたり1万ベクレル

放出停止判断レベル: 設備の運用としてALPS処理水の海洋放出を停止する指標

調査レベル:放出停止判断レベルに達する前段階で必要な対応(設備・操作手順の確認, モニタリングの強化等)を取る指標

請戸川沖合3km付近(T-S3) 表層 海水放射能濃度(迅速に結果を得る測定)

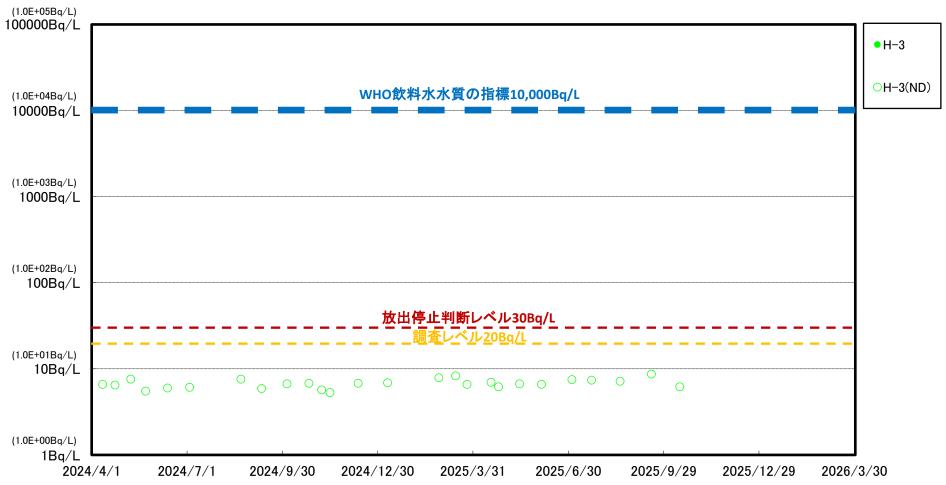


※世界保健機関(WHO)飲料水水質の指標:WHOの飲料水ガイドラインでは1リットルあたり1万ベクレル

放出停止判断レベル: 設備の運用としてALPS処理水の海洋放出を停止する指標

調査レベル:放出停止判断レベルに達する前段階で必要な対応(設備・操作手順の確認, モニタリングの強化等)を取る指標

福島第一 敷地沖合3km付近(T-S4) 表層 海水放射能濃度(迅速に結果を得る測定)

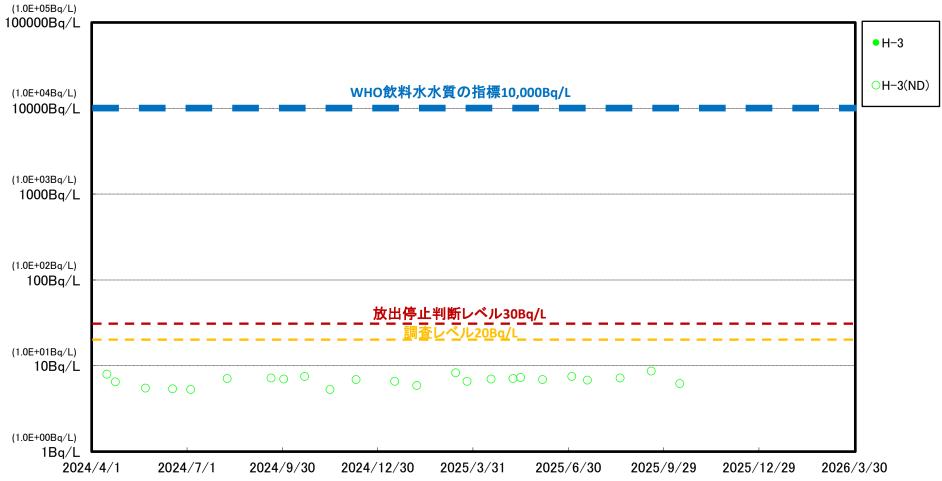


[※]世界保健機関(WHO)飲料水水質の指標:WHOの飲料水ガイドラインでは1リットルあたり1万ベクレル

放出停止判断レベル: 設備の運用としてALPS処理水の海洋放出を停止する指標

調査レベル:放出停止判断レベルに達する前段階で必要な対応(設備・操作手順の確認, モニタリングの強化等)を取る指標

熊川沖合4km付近(T-S8) 表層 海水放射能濃度(迅速に結果を得る測定)



※世界保健機関(WHO)飲料水水質の指標:WHOの飲料水ガイドラインでは1リットルあたり1万ベクレル

放出停止判断レベル: 設備の運用としてALPS処理水の海洋放出を停止する指標

調査レベル:放出停止判断レベルに達する前段階で必要な対応(設備・操作手順の確認, モニタリングの強化等)を取る指標

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

海水分析結果 <発電所から3km以内> (迅速に結果を得る測定)

要約	放出停止判断レベル(700Bq/L)および調査レベル(350Bq/L)以下を確認※1
----	--

採取場所	採取日時	H-3 (Bq/L)
1F 5,6号機放水口北側 (T-1)		_
1 F 南放水口付近 (T-2)		_
1F 北防波堤北側 (T-0-1)	2025/11/02 07:08	< 5.5E+00
1F 港湾口北東側 (T-0-1A)	2025/11/02 07:11	< 8.6E+00
1F 港湾口東側 (T-0-2)	2025/11/02 07:18	< 5.6E+00
1F 港湾口南東側 (T-0-3A)		_
1 F 南防波堤南側 (T-0-3)		_
1F 敷地北側沖合1.5km (T-A1)		_
1F 敷地沖合1.5km (T-A2)	2025/11/02 07:14	< 8.6E+00
1F 敷地南側沖合1.5km (T-A3)	_	_

- ・不等号(く:小なり)は,検出限界値未満(ND)を表す。
- ・測定対象外の項目は「-」と記す。
- ・ \bigcirc . \bigcirc E \pm \bigcirc とは, \bigcirc . \bigcirc ×10 $^{\pm \bigcirc}$ であることを意味する。
- (例) 3.1E+01は 3.1×10^{1} で31, 3.1E+00は 3.1×10^{0} で3.1, 3.1E-01は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。
- ※1放出停止判断レベル:設備の運用としてALPS処理水の海洋放出を停止する指標

調査レベル: 放出停止判断レベルに達する前段階で必要な対応(設備・操作手順の確認,モニタリングの強化等)を取る指標(参考)WHOの飲料水水質ガイドラインにおける,トリチウムの指標:1E+04Bq/L(1万Bq/L)

・2023年12月26日より,分析頻度見直し。

詳細については「今後の迅速に結果を得る測定のモニタリング計画の変更について」を参照。

https://www.tepco.co.jp/decommission/information/newsrelease/reference/pdf/2023/2h/rf_20231225_1.pdf